



平成28年 2月15日

各 位

会社名 株式会社メドレックス
代表者名 代表取締役社長 松村 眞良
(コード番号：4586 東証マザーズ)
問合せ先 経営管理部長 北垣 栄一
(TEL. 03-3664-9665)

AsiaTIDES 2016 への研究成果発表に関するお知らせ

平成26年3月28日に「平成26年度かがわ中小企業応援ファンド事業採択に関するお知らせ」で、当社の「イオン液体技術を応用した新規骨粗鬆症治療貼付剤の開発」プロジェクトが公益財団法人かがわ産業支援財団の平成26年度かがわ中小企業応援ファンド事業に採択されたことをお知らせしておりましたが、このたび当該事業の研究内容について、AsiaTIDES 2016にて発表することになりましたので、お知らせいたします。

AsiaTIDES 2016 開催概要

名称：AsiaTIDES:Oligonucleotide and Peptide Research, Technology and Product Development 2016
会期：2016年2月24日（水）～26日（金）
会場：ウェスティン 都ホテル 京都
主催：IBC Life Sciences

※IBC主催の第8回AsiaTIDESは、オリゴヌクレオチドとペプチドに関するアジア地域で最大規模のフォーラムです。

当社の出展概要

テーマ：An Improved Transdermal Patch of Teriparatide Using Ionic Liquid Transdermal System (ILTS)
プレゼンテーション日時：2月24日（水）16:15～16:45
URL：<http://www.giievent.jp/ibu337040/agenda.shtml>

発表要旨：

イオン液体を利用した当社独自の経皮吸収型製剤技術ILTS®を用いたテリパラチドの貼付剤について、ラットを用いた試験により、テリパラチドの血中濃度を間欠的に高め、皮膚刺激もないことが示されました。

以 上

《ご参考》

「イオン液体技術を応用した新規骨粗鬆症治療貼付剤の開発」プロジェクトは、現在は注射しか投与手段のない、骨形成を促進する薬剤であるテリパラチドの貼付剤を開発することを目標とするものです。イオン液体を用いた独自の経皮吸収型製剤技術であるILTS® (Ionic Liquid Transdermal System) を活用することにより、従来の技術では不可能であったテリパラチドの様な高分子のペプチドを経皮吸収させ、貼付剤とすることにより、自己投与可能で、痛みや皮膚損傷が少ないという点で患者負担を大幅に軽減し、生活の質 (QOL) を向上させることができると期待されます。

テリパラチドは、間欠的な投与により骨の形成を促進させる薬剤であり、世界の骨粗鬆症市場の1/10を占め、2012年には世界で約11億5千万ドル、国内で約170億円の市場規模となっていますが、分子量約4000のペプチドであるため、現在は注射剤しか上市されていません。

骨粗鬆症は、骨の吸収 (分解) と形成のバランスが崩れることにより、骨の密度や質が低下し、骨折しやすくなる疾患で、日本の骨粗鬆症患者数は1380万人、全国民の1割以上と推定されており、高齢化が進むとともに年々増加し、骨粗鬆症による骨折の医療・介護費用は毎年1兆円以上と推計されています (いいほね.jp 骨粗しょう症ホームページ 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン、ai Reportより)。